

景気見通し調査(平成28年12月期)

調査結果

福井商工会議所
中小企業総合支援センター

【調査の概要】

当調査は、福井商工会議所管内の小規模事業所の短期的な景気動向を把握するため、毎年3月・6月・9月・12月の年4回実施している。

調査時期 平成28年12月5日(月)～12月9日(金)

調査方法 FAXによる送付、回収

調査対象 福井商工会議所 会員小規模事業所より 364件を抽出

(製造業・建設業・・・従業員20人以下の事業所

卸売業・小売業、商業・サービス・その他・・・従業員5人以下の事業所)

回答数 182件 (回収率50.0%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
5名以内	13	14	16	9	16	68(40.5%)
6～10名以内	15	11	1	4	3	34(20.2%)
11名以上	19	15	12	7	13	66(39.3%)
計	47(28.0%)	40(23.8%)	29(17.3%)	20(11.9%)	32(19.0%)	168

※業種未回答14件除く

DI値とは

ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「良い」「上昇」したとする企業割合から、「悪い」「下落」したとする企業割合を差し引いた値。「現在」DI値は3か月前を基準とした現在の状況、「先行」DI値は今後3か月後の状況を予測したもの。

【調査結果の概要】

業界の景況・自社の景況ともに改善

～自社の景況は4期ぶりの改善～

■業界の景況

- ・2期連続の改善
- ・製造業のみ悪化
- ・小売業、サービス業は改善の見込

■仕入価格

- ・3期連続の悪化
- ・サービス業のみわずかな改善
- ・建設業のみ改善の見込み

■自社の景況

- ・4期ぶりの改善
- ・製造業のみ悪化
- ・製造業、卸売業は改善の見込み

■販売価格

- ・4期ぶりの改善
- ・製造業・サービス業は悪化
- ・製造業・建設業は悪化の見込み

■売上高(受注高)

- ・4期ぶりの改善
- ・小売業のみ悪化
- ・卸売業のみ改善の見込み

■採算(収支)

- ・2期連続の改善
- ・卸売業、サービス業は悪化
- ・全業種で悪化の見込み

■業界別の動向

業種	コメント	前回調査との比較					
		業界の景況	自社の景況	売上高 (受注高)	仕入価格 (商品、資材、 原材料等)	販売価格 (受注単価)	採算 (収支)
全業種		↑	↑	↑	↓	↑	↑
製造業	+ 半年先の仕事量は確保できている	↓	↓	↑	↓	↓	↑
	+ 原料が安くなっている						
	- 客先の設備投資が不調						
	- 他社との競争激化						
建設業	+ 受注が好調	↑	↑	↑	↓	↑	↑
	+ 大型物件の受注が多い						
	- 仕事はあるが、お金の立替が大きい						
	- 受注不足						
卸売業	+ 新たなブランドの受注が見込まれる	↑	↑	↑	↓	↑	↓
	- 輸出の不調						
	- 天候不良、水害などで入荷不足						
	- 在庫が多い						
小売業	+ オリンピック効果で商品の関心が高まっている	↑	↑	↓	↓	↑	↑
	+ 年末年始の受注が多い						
	- 買い控え						
	- 売上高の減少						
サービス業	+ 顧客数の増加	↑	↑	↑	↑	↓	↓
	+ 受注増加						
	- 個人消費の回復が見られない						
	- 受注量を確保できない						

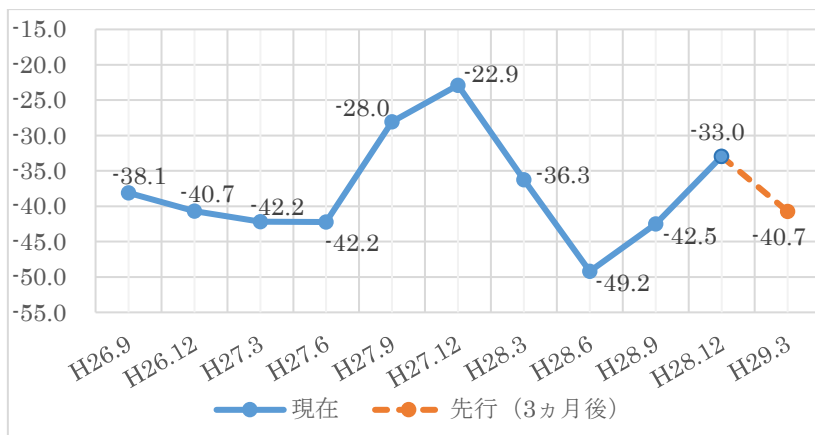
※青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を表している。

■調査結果概要(調査項目)

	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
業界の景況	-33.0	9.5	-40.7	-7.7
製造業	-52.9	-13.4	-54.2	-1.3
建設業	10.9	41.3	-23.8	-34.7
卸売業	-70.0	2.7	-72.4	-2.4
小売業	-45.0	10.6	-33.3	11.7
サービス業	-22.9	5.3	-16.7	6.2
自社の景況	-23.8	7.8	-35.0	-11.2
製造業	-43.1	-21.5	-36.2	6.9
建設業	8.7	27.8	-22.2	-30.9
卸売業	-60.0	6.7	-48.3	11.7
小売業	-31.6	7.3	-56.3	-24.7
サービス業	-2.9	20.2	-24.1	-21.2
売上高	-17.7	14.9	-29.4	-11.7
製造業	-29.4	7.4	-38.8	-9.4
建設業	13.0	38.5	-22.7	-35.7
卸売業	-50.0	7.6	-43.3	6.7
小売業	-40.0	-6.7	-42.1	-2.1
サービス業	0.0	15.4	-5.7	-5.7
仕入価格	-26.4	-8.3	-29.5	-3.1
製造業	-30.0	-16.8	-35.4	-5.4
建設業	-19.6	-2.6	-13.3	6.3
卸売業	-30.0	-20.9	-40.0	-10.0
小売業	-30.0	-2.2	-33.3	-3.3
サービス業	-25.0	3.6	-31.3	-6.3
販売価格	-4.5	4.3	-5.1	-0.6
製造業	-7.8	-2.5	-12.0	-4.2
建設業	0.0	10.9	-4.4	-4.4
卸売業	-20.7	7.4	-13.8	6.9
小売業	10.0	10.0	15.0	5.0
サービス業	0.0	-2.7	0.0	0.0
採算(収支)	-23.6	5.9	-34.4	-10.8
製造業	-35.3	2.5	-42.0	-6.7
建設業	-2.2	25.5	-22.2	-20.0
卸売業	-43.3	-3.9	-50.0	-6.7
小売業	-30.0	11.2	-35.0	-5.0
サービス業	-14.3	-4.0	-25.7	-11.4

【業界の景況】

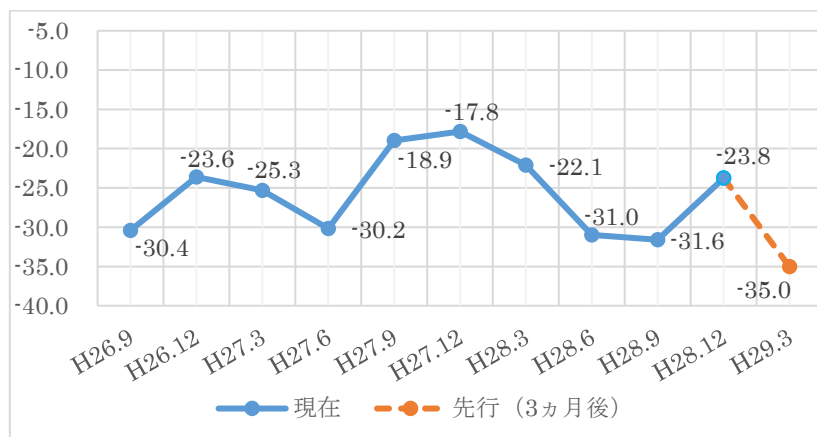
業界全体の現在 DI 値は▲33.0 を示し、前回調査（H28.9 期）から 9.5 ポイント回復し、2 期連続の改善となった。3 ヶ月後の動向を表す先行 DI 値は▲40.7 で、悪化を見込んでいる。業種別では、製造業が▲52.9、建設業が 10.9、卸売業が▲70.0、小売業が▲45.0、サービス業が▲22.9 となっている。前回調査と比較すると、製造業以外の業界では回復し、なかでも建設業は 41.3 ポイントの改善となった。



業界の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
全体	-33.0	9.5	-40.7	-7.7
製造業	-52.9	-13.4	-54.2	-1.3
建設業	10.9	41.3	-23.8	-34.7
卸売業	-70.0	2.7	-72.4	-2.4
小売業	-45.0	10.6	-33.3	11.7
サービス業	-22.9	5.3	-16.7	6.2

【自社の景況】

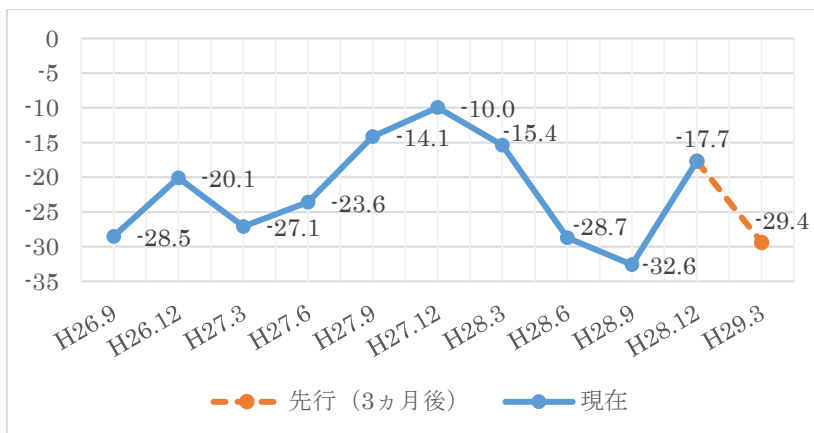
自社の景況は、現在 DI 値▲23.8 となり、前回調査より 7.8 ポイント回復した。3 ヶ月後の先行 DI 値は▲35.0 で、現在より 11.2 ポイントの悪化を見込んでいる。業種別では、製造業が▲43.1、建設業が 8.7、卸売業が▲60.0、小売業が▲31.6、サービス業が▲2.9 を示した。先行 DI 値からは製造業・卸売業における上昇が見込まれていることが分かる。



自社の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
全体	-23.8	7.8	-35.0	-11.2
製造業	-43.1	-21.5	-36.2	6.9
建設業	8.7	27.8	-22.2	-30.9
卸売業	-60.0	6.7	-48.3	11.7
小売業	-31.6	7.3	-56.3	-24.7
サービス業	-2.9	20.2	-24.1	-21.2

【売上高(受注高)】

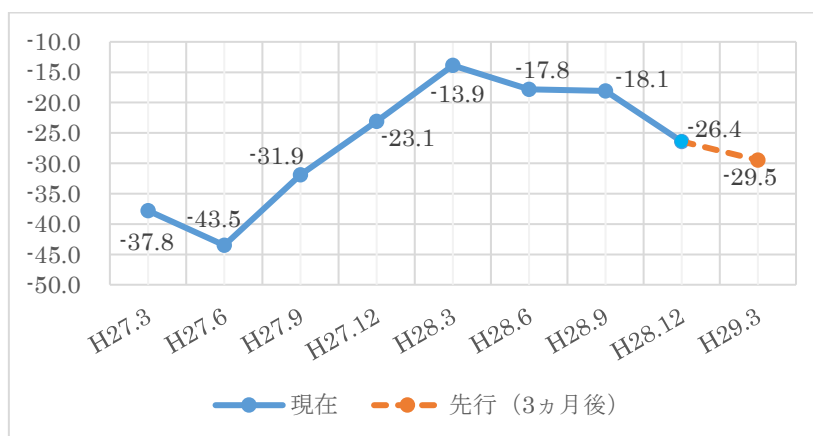
売上高(受注高)状況を表す現在DI値は▲17.7となり、前回調査から14.9ポイントの回復となった。3ヶ月後の先行DI値は、▲29.4と現在より11.7ポイントの悪化を予測している。業界別には、製造業が▲29.4、建設業が13.0、卸売業が▲50.0、小売業が▲40.0、サービス業が0.0となった。前回調査と比較して、小売業が6.7ポイント減であった。今後3ヶ月後の見通しは、卸売業のみ改善する見込みである。



売上高	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-17.7	14.9	-29.4	-11.7
製造業	-29.4	7.4	-38.8	-9.4
建設業	13.0	38.5	-22.7	-35.7
卸売業	-50.0	7.6	-43.3	6.7
小売業	-40.0	-6.7	-42.1	-2.1
サービス業	0.0	15.4	-5.7	-5.7

【仕入価格】

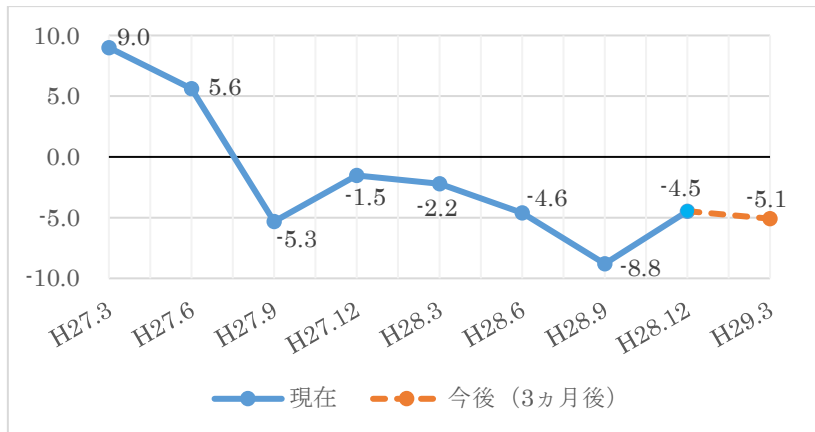
仕入価格の現在DI値は▲26.4で、前回調査から8.3ポイント減となり、3期連続の悪化となった。3ヶ月後の先行DI値は▲29.5と、現在と比べ3.1ポイント減を予測している。業種別では、製造業が▲30.0、建設業が▲19.6、卸売業が▲30.0、小売業が▲30.0、サービス業が▲25.0となった。3ヶ月後は建設業のみ改善する見通しである。



仕入価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-26.4	-8.3	-29.5	-3.1
製造業	-30.0	-16.8	-35.4	-5.4
建設業	-19.6	-2.6	-13.3	6.3
卸売業	-30.0	-20.9	-40.0	-10.0
小売業	-30.0	-2.2	-33.3	-3.3
サービス業	-25.0	3.6	-31.3	-6.3

【販売価格】

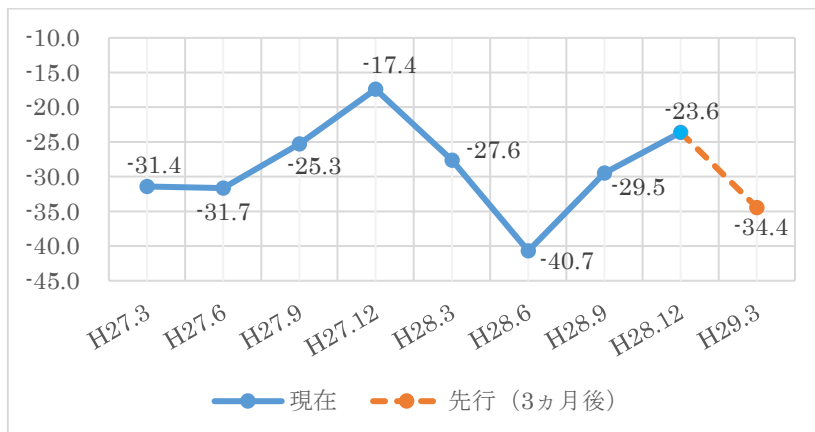
販売価格の現在 DI 値は▲4.5 となり、前回調査から 4.3 ポイント改善している。3 ヶ月後の先行 DI 値は▲5.1 で、わずかな悪化が予測される。業種別では、製造業が▲7.8、建設業が 0.0、卸売業が▲20.7、小売業が 10.0、サービス業が 0.0 となった。業種別の先行 DI 値については、卸売業・小売業のみ改善を見込んでいる。



販売価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-4.5	4.3	-5.1	-0.6
製造業	-7.8	-2.5	-12.0	-4.2
建設業	0.0	10.9	-4.4	-4.4
卸売業	-20.7	7.4	-13.8	6.9
小売業	10.0	10.0	15.0	5.0
サービス業	0.0	-2.7	0.0	0.0

【採算(収支)】

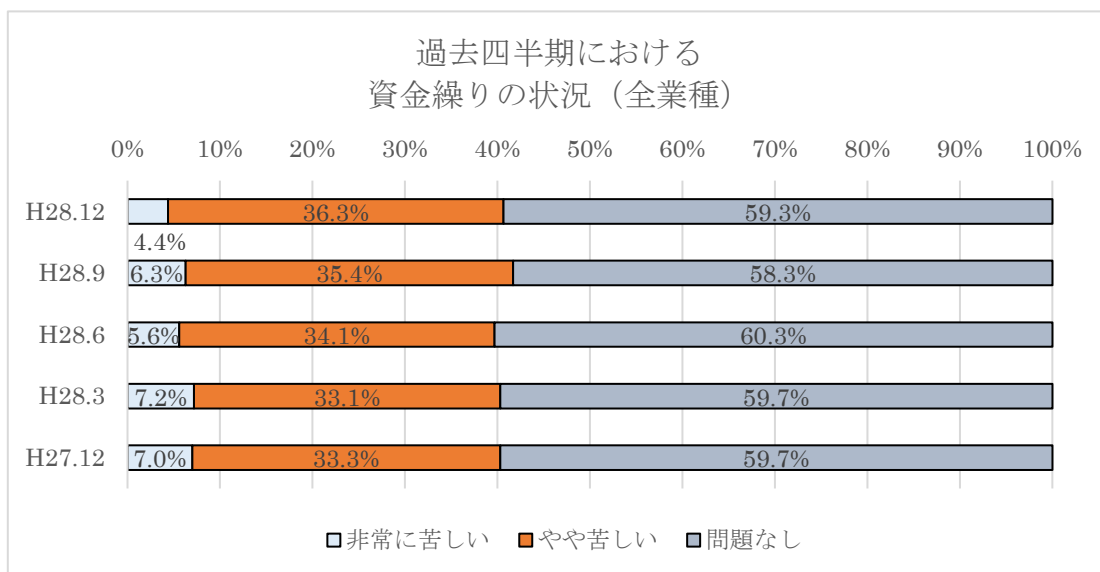
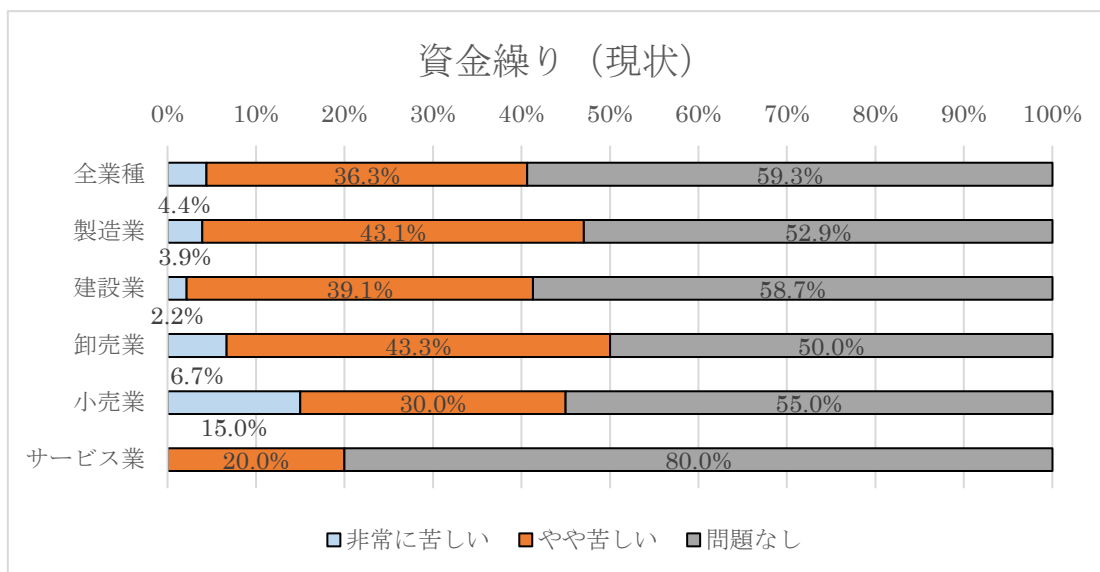
採算(収支)状況を表す現在 DI 値は▲23.6 と、前回調査から 5.9 ポイント増、2 期連続の改善となった。3 ヶ月後の先行 DI 値は▲34.4 で、現在と比べ 10.8 ポイントの悪化を見込んでいる。業種別では、製造業が▲35.3、建設業が▲2.2、卸売業が▲43.3、小売業が▲30.0、サービス業が▲14.3 となった。3 ヶ月後の見通しは、全業種で悪化する見込みである。



採算(収支)	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-23.6	5.9	-34.4	-10.8
製造業	-35.3	2.5	-42.0	-6.7
建設業	-2.2	25.5	-22.2	-20.0
卸売業	-43.3	-3.9	-50.0	-6.7
小売業	-30.0	11.2	-35.0	-5.0
サービス業	-14.3	-4.0	-25.7	-11.4

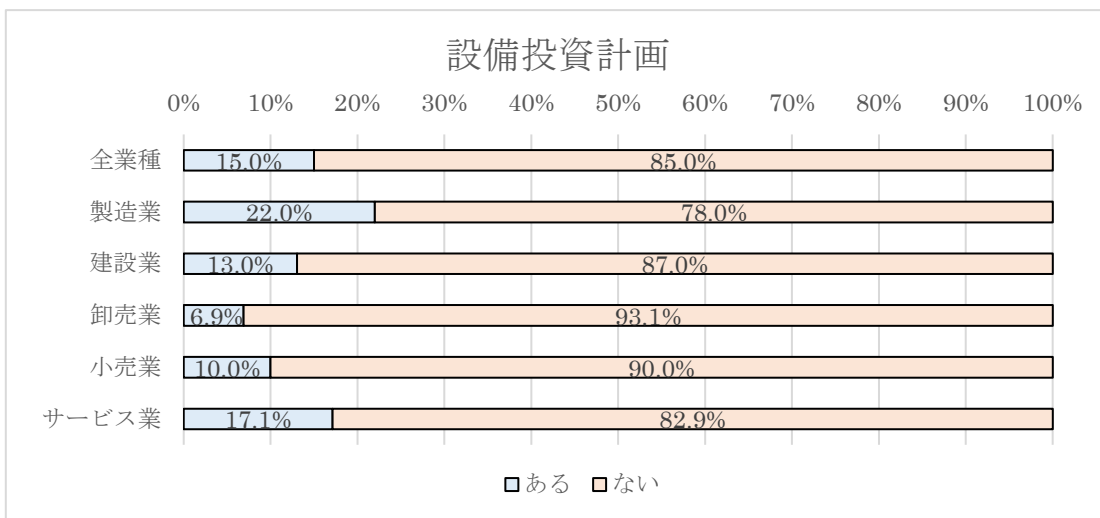
【資金繰り】

資金繰りの状況は、全業種の約6割が「問題なし」と回答している。業種別では、製造業と卸売業は資金繰りが比較的厳しいことが分かる。一方で、サービス業においては8割の事業所が「問題なし」と回答している。



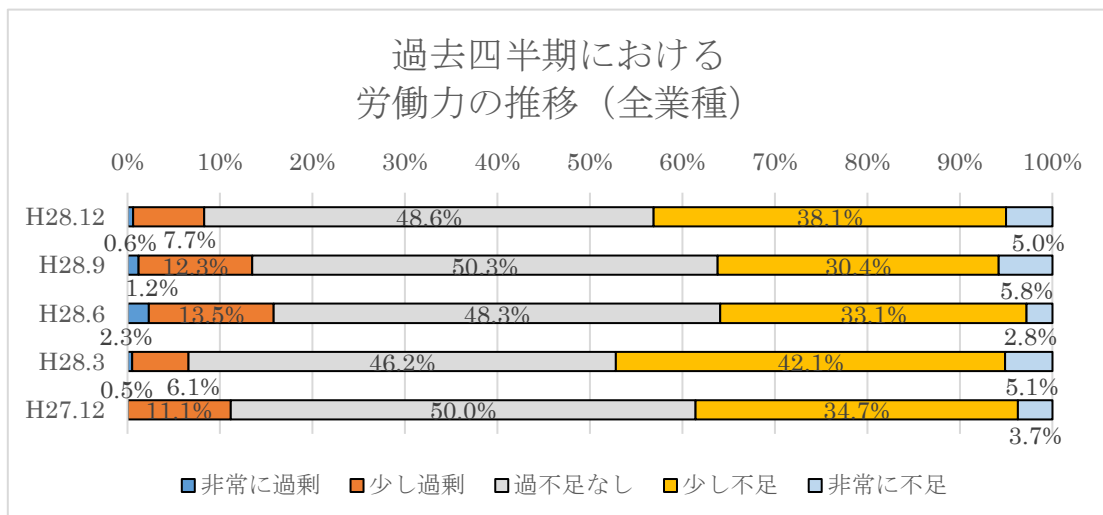
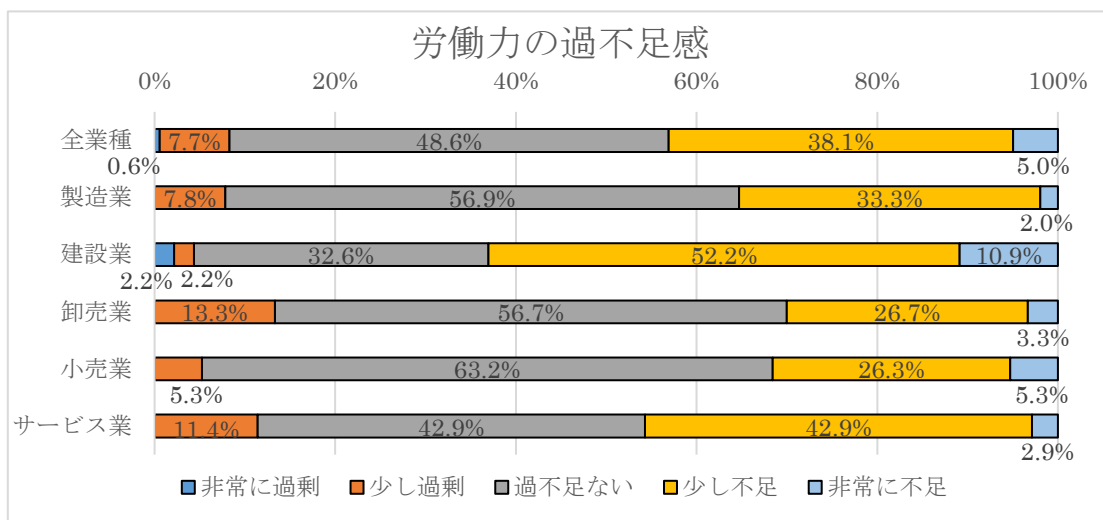
【設備投資】

今後3ヶ月以内に設備投資の予定があるかどうか伺ったところ、全業種では15.0%が「ある」と回答している。業種別では製造業が22.0%、サービス業が17.1%となっており、他業種と比べると高い結果となった。



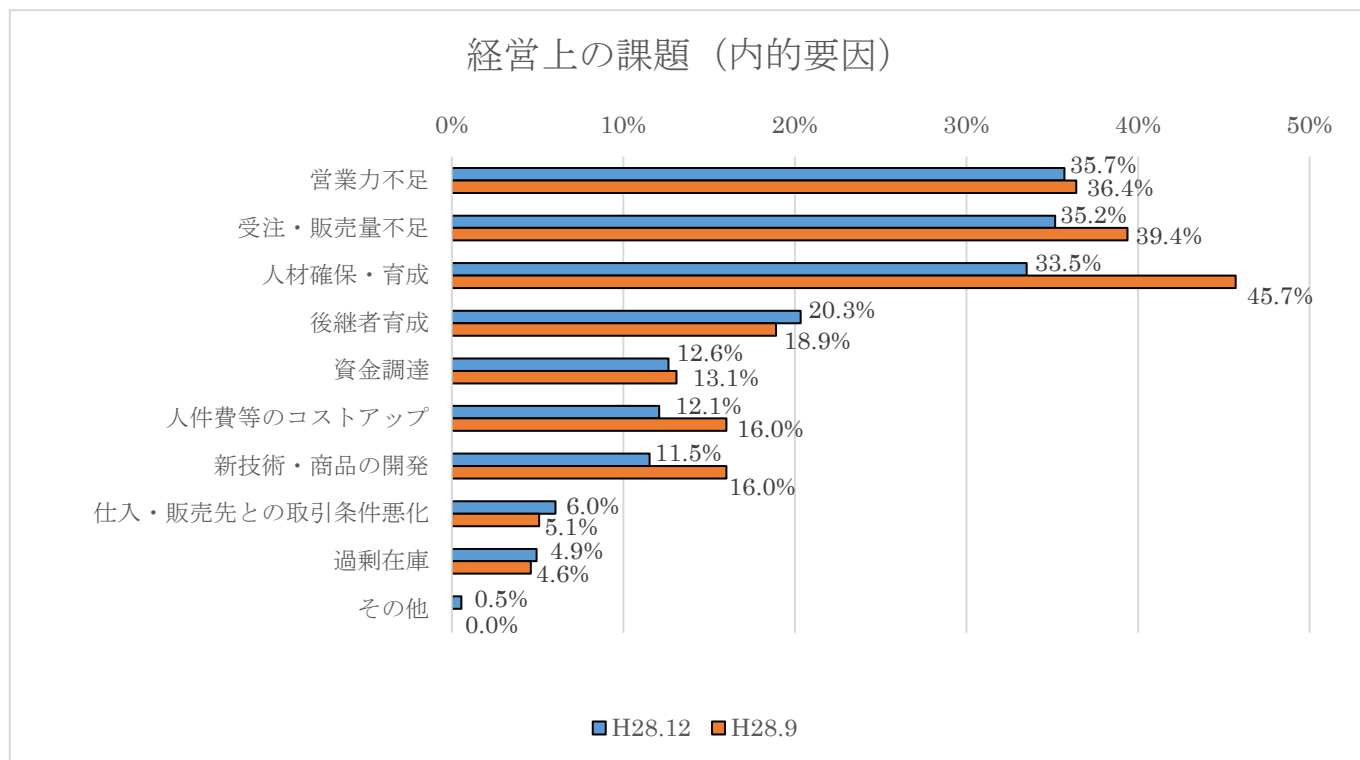
【労働力】

労働力の過不足感については、全業種では約半数の48.6%の事業所が「過不足ない」と答えた。業種別では、建設業・サービス業が「不足している（「少し不足」＋「非常に不足」）」と回答する割合が高く、建設業は63.1%の事業所が「少し不足」「非常に不足」と回答した。



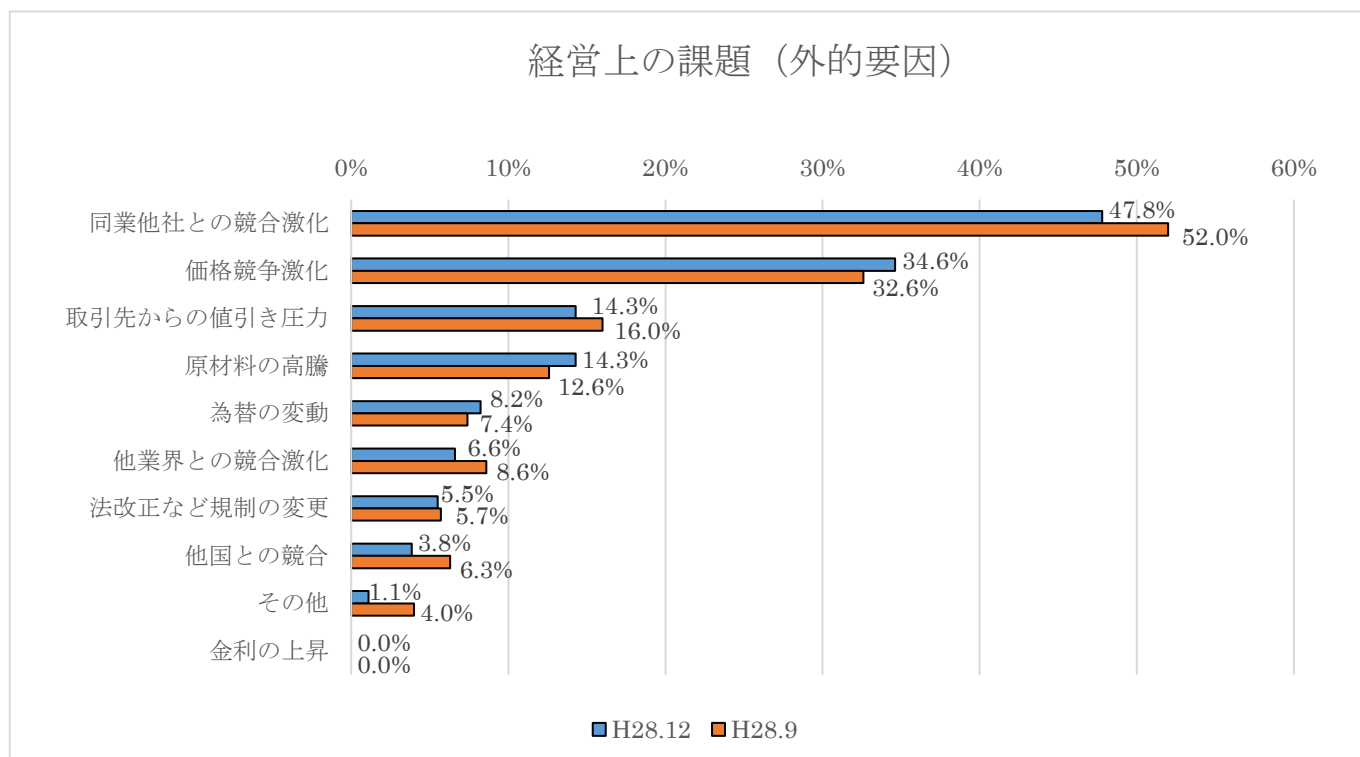
【経営課題(内的)】

経営上の課題（内的要因）については、「人材確保・育成」を課題にしている事業所の割合が前回調査から下落し33.5%となった。一方で「後継者育成」「仕入・販売先との取引条件悪化」「過剰在庫」を経営上の課題にしている事業所の割合が増えた。



【経営課題(外的)】

経営上の課題（外的要因）として、最も挙げられたのが前回調査時と同じく「同業他社との競争激化」であった。前回調査と比べると「同業他社との競争激化」が4.2ポイント、「取引先からの値引き圧力」が1.7ポイント減っている。一方で、「価格競争激化」が2.0ポイント、「原材料の高騰」が1.7ポイント増加している。

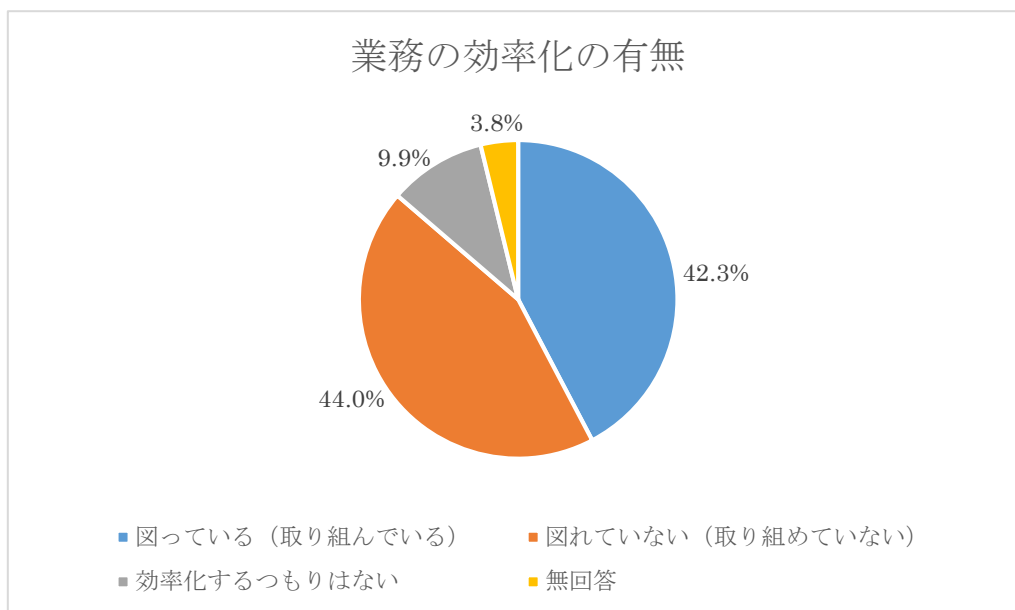


【業務の効率化について】

前回調査時の経営課題（内的）において「人材確保・育成」と回答した事業所の割合は45.7%であった。この結果を踏まえて、人手不足な状況の中で業務の効率化のためにどのような工夫をなされているのか、各事業所に伺った。

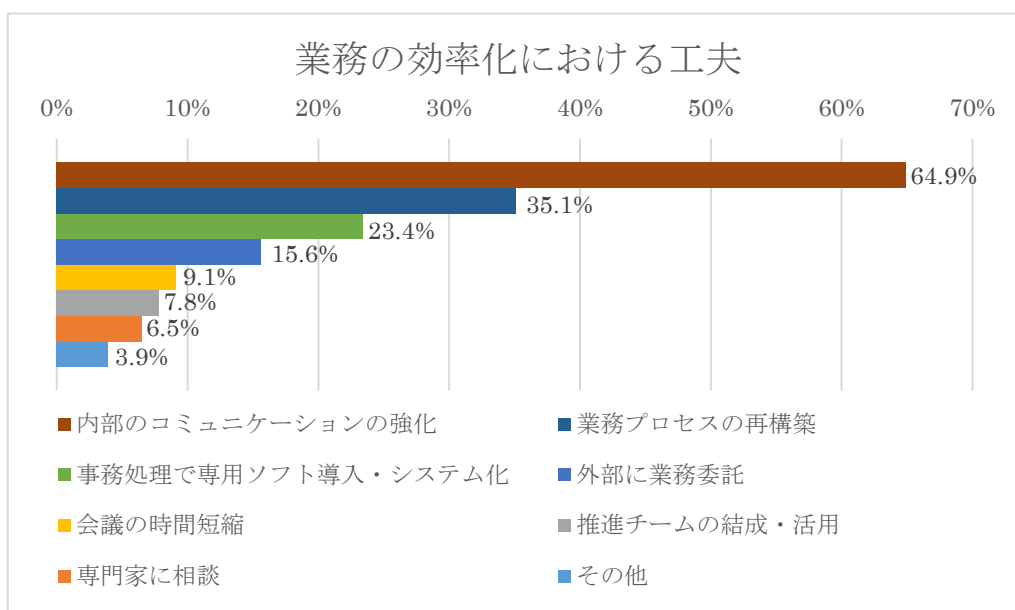
《現在、業務の効率化を図っているか？》

業務の効率化を図っているかどうかという項目で、「効率化を図っている（取り組んでいる）」が42.3%、「効率化を図れていない（取り組めていない）」が44.0%、「効率化するつもりはない」が9.9%、無回答が3.8%であった。



《業務の効率化のために取り組んでいること》

「業務の効率化を図っている」と回答した事業所に「業務の効率化のために取り組んでいることは何か」回答して頂いたところ、「内部のコミュニケーションの強化」が64.9%と最も多く、「業務プロセスの再構築」が35.1%、「事務処理で専用ソフト導入・システム化」が23.4%という結果になった。



《業務の効率化が図れていない理由》

「業務の効率化を図れていない・効率化するつもりはない」と回答した事業所に「業務の効率化が図れていない理由は何か」回答して頂いたところ、「取り組む人がいない」が46.9%と最も多く、「システム等の導入・活用ができていない」が22.4%、「方法や手段が分からない」が19.4%、「その他」が13.3%という結果になった。

